



—北アフリカ地域ニュース—

エジプト：第2回アラブ経済サミット

(20日付現地各紙)

## 1. 第2回アラブ経済サミット

19日、エジプトのシャルム・エル・シェイクにおいて、第2回アラブ経済サミットが開催された。エジプトのムバーラク大統領は、「失業対策および雇用機会の創出は、今後も我々が取り組むべき重要課題である」とする開会のスピーチを行った。同サミットには、アラブ諸国から10名の首脳が参加した。アラブ首脳は、サミットの終盤に採択されたシャルム・エル・シェイク宣言において、次回（第3回）サミットを2013年にサウジアラビアのリヤドで開催することに同意した。

## 2. 要人発言

### (1) ムバーラク・エジプト大統領

アラブ諸国が共通の行動をとる努力をすれば、アラブの包括的発展が実現されるであろう。失業と雇用創出の問題は、アラブ世界の最優先課題の一つである。アラブ世界の最も貴重な富は若者であり、我々（アラブ）の将来は彼らの手にかかっている。アラブ世界を取り巻く危険、外国勢力のアラブ世界への干渉等は、アラブ世界の経済協力の重要性と、アラブ諸国の発展こそが安全保障確保の方途であることを（我々に）悟らせたのである。

### (2) ムーサ・アラブ連盟事務総長

アラブの精神は貧困や失業、経済の低迷によって打ち砕かれた。チュニジアで起こった革命は、経済・社会開発というアラブ経済サミットの議題から遠くにあるわけではない。アラブ市民は、先例のない怒りと失望の段階に入っており、アラブのルネサンスが必要である。

### (3) アブルゲイト・エジプト外相

今次サミットは経済サミットであり、チュニジア情勢は取り扱わなかった。同案件は3月にバグダードで開催されるアラブ・サミットで確実に協議されるだろう。エジプトはチュニジアで起こったことを理解しており、チュニジア国民の選択を尊重する。

### (4) バシール・スーダン大統領

送電網、陸上交通網事業等、前回サミットで採択された事業の実施を急ぐよう求める。スーダン情勢に関しては、2005年に南部スーダンと締結した包括的平和条約に記された事項

をスーダンは実施している。

#### (5) タラバーニー・イラク大統領

イラク政府は、緊急アラブ食料安全プログラムを支援する。

#### (6) サバーハ・クウェイト首長

エジプトのアレクサンドリアの教会を標的とするテロ攻撃を非難する。あらゆる形態のテロ撲滅に向けた国際的な取り組みにアラブ諸国も参加することが重要である。

#### (7) サーレハ・イエメン大統領

アラブ共同市場の創設を急ぐ必要がある。

### 3. シャルム・エル・シェイク宣言の内容

#### (1) 食料・水の安全保障

食料の安全保障は、アラブ諸国にとって最優先事項であり、あらたな発想と視野で取り組む必要がある。

水の安全保障も重要課題である。我々はアラブ水の安全保障戦略を実施する。

#### (2) 気候変動等への対処

生態系の悪化に伴いアラブ諸国は種々のリスクに直面していることに鑑み、我々はアラブ災害リスク削減戦略 2020 を実施するとともに、アラブ気候変動宣言・声明への取り組みを強化する。

#### (3) アラブ市民の生活および将来

アラブ市民の生活および将来の改善に関し、我々はミレニアム開発目標（MDGs）達成に向け協議するとともに、人間開発、教育や科学技術研究の改善、アラブ社会に対する女性の役割強化、貧困削減、失業対策に取り組んできた。

我々は、今後の社会開発にとって、高水準な保健医療の提供が極めて重要と認識する。

#### (4) 若者の社会参加と雇用機会

アラブの若者の社会参加、雇用につながる機会を提供する。

クウェイトの首長が提唱した中小規模事業への融資のための基金は、貧困削減および若者への雇用機会増に資するものと期待する。

この基金については、アラブ経済社会開発基金が運用を行う。

#### **(5) エネルギー**

風力、原子力の平和利用、太陽光エネルギーなど新・再生エネルギーの活用を図る。

#### **(6) アラブ関税同盟**

2012 年末までに、対アラブ諸国向けの関税を統一すべく取り組んでいる。

この合意の後、2015 年のアラブ関税同盟の発足、2020 年のアラブ共同市場の実現を予定している。

#### **(7) 世界銀行との協力**

世界銀行のアラブ世界に対するイニシアティブおよび、アラブ諸国と世界銀行との協力強化を歓迎する。

#### **(8) 域外諸国との関係強化**

中国、インド、日本、トルコ、ロシア、アフリカ諸国、南米諸国等、世界各国・地域と新しいパートナーシップを築き、フォーラム開催や協力プログラムを通じた共同事業を強化・発展させたい。

アラブ・アフリカ戦略パートナーシップの活性化を図るとともに、2011 年 2 月 3 日に開催される第 3 回アラブ南米サミットを通じ、南米諸国との協力強化を図る。

#### **(9) パレスチナでの事業の支援**

我々はエルサレムのユダヤ化を目的としたイスラエルの行動に直面している同市の安定を図るため、パレスチナから要請のある事業に対し引き続き融資を行う。

これは、アル・アクサー基金、アル・クドゥス基金を通じて行われる。

---

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799